



データは運行管理者と柿崎社長が毎日チェック

## 東日輸送

【北海道】東日輸送（柿崎一社長、北海道江別市）区）の関連会社で、当然のことがタイガー（竹添幸男社長、東京都千代田区）から、最善の努力を重ねてきた。デジタルタコグラフを導入

国または道内で発生した事故事例を紹介しながら、どうすれば回避できたかなどのポイントを話し合う。ドライバーは「日本通運

小限に食い止めるには、法定速度を守っていることが大事」と柿崎社長。導入に際し、ドライバー

# デジタルタコでスピード管理

## 燃費・安全意識向上に寄与

したのは2007年。目的は事故防止で、特に、会社から出発した後なかなか把握できないトラックのスピードの管理を目指した。

同社は、東札幌日通輸送

グループの一員」という自覚と誇りを持って、日々、業務に取り組んでいるが「運転に限らず、人間にミスは付きもの。万が一、事故を起こしたとしても被害を最

80キロに設定。運転日報とデジタルタコのデータを毎日、運行管理者と柿崎氏がチェックし、ミスを最小限で摘み取るようにしている。



こうした取り組みの結果、急発進、急加速、急停止が激減。燃料費が年間平均10%以上削減できたことも効果の一つだ。事故防止と燃費削減は経営を守る必須条件。柿崎氏は「これからもデジタルタコを大いに活用していく」と語っている。

（那須野 ゆみ）